

全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会後 怪我等が生じた場合の保険手続きおよび 保険証の現物持参について

選抜選手各位

1、怪我等が生じた場合の保険手続き

日本テコンドー協会は、さくら保険を代理店とし、三井住友海上保険との間に、下記の内容で保険契約を締結しています。

| | | |
|------|---------------------|--------------|
| 組手試合 | <u>死亡・後遺障害（失明等）</u> | <u>5千円</u> |
| | <u>入院1日</u> | <u>6千円</u> |
| | <u>通院1日</u> | <u>4千円</u> |
| 型&演武 | <u>死亡・後遺障害（失明等）</u> | <u>約9百万円</u> |
| | <u>入院1日</u> | <u>6千円</u> |
| | <u>通院1日</u> | <u>4千円</u> |

全日本FT大会出場後、身体に異常や痛みを感じた場合、すみやかに病院で適切な治療を受けて下さい。その際、かならず領収書を受領し、そのすべてを保管して下さい。

次いで、選手各位が直接、さくら保険に電話し、保険金の請求手続きを行って下さい。

042-368-0744 担当 長澤氏

試合終了後、すみやかに通院し、保険金請求手続きを行わないと保険が適用されませんのでご注意ください。

2、保険証の現物持参について

日本テコンドー協会（JTA）が主催する全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会の組手試合は、一本勝ちや技有り勝ちを認める打撃系格闘技の試合です

（ただし、高校生や少年少女部の組手試合は、ライトコンタクト・テコンドー・ルール）

しかも無差別級です。

従って危険が伴います。

組手試合出場選手は、出場種目を問わず保険証の現物を必ず持参して下さい。

後楽園ホールの周囲には、高度な医療技術を有する大学病院等があります。

万が一の時は、救急車で搬送しますが、その際、保険証の現物がないと全額自己負担となります。

近隣ならば、後日、現物を大学病院等に持参して返金となりますが、

地方の選手は、交通費等の経済的負担が大きくなりますので、保険証の現物を持参して下さい。

また型試合に出場選手も、

何らかのアクシデント（たとえば、組手のフォーミングアップをしている選手に蹴られてしまう等）

により大怪我をすることもあり、絶対安全とは言えません。

よって型の選手も、保険証の現物を持参して下さい。